

令和3年ホヤ類調査結果速報 No. 2

令和3年8月30日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

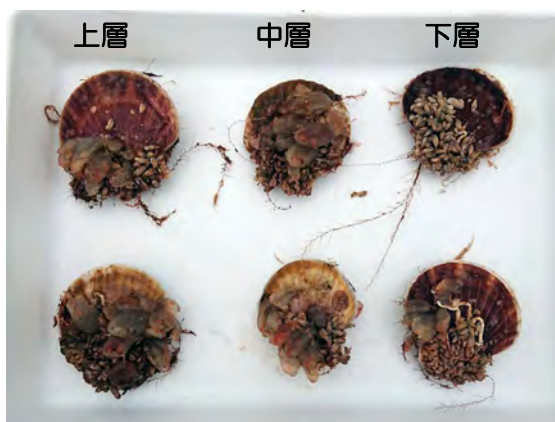
【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

8月26日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数が増加しました（図3上）。しかし、付着個体数はホタテガイ1枚あたり25.3個体と少なく（表1）、過去10ヶ年の平均の約1/3程度です（図3上）。
- 平均サイズは11.5mmで過去10ヶ年の平均よりも大きいですが、肉眼で識別困難な5mm未満の個体の占める割合は約2割と低く、新たに付着している個体は例年よりも少ないとみられます（図1、図2）。
- ヨーロッパザラボヤの付着数は8～9月に大きく減少します（図3上）。この時期にどの程度、付着個体数が減少するかが、その後の付着重量の増加（図3下）に影響すると考えられます。来月の調査結果を注目ください。
- なお、地区や深度によって、ヨーロッパザラボヤの付着状況が本調査とは大きく異なる場合もあります。生産者におかれましては、念のため、玉付けなどの作業時等に状況の確認を行うようにして下さい。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ 令和3年8月26日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和3年度ザラボヤ被害防止ネットワーク構築委託事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

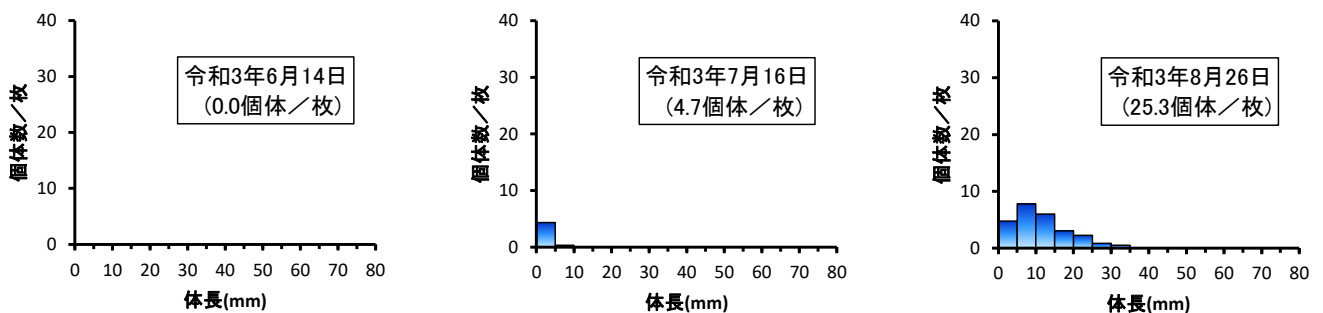
【調査月日：8月26日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚】

ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数はホタテガイ1枚あたり25.3個体（過去10ヶ年平均71.4個体）、平均サイズは11.5mm（過去10ヶ年平均8.2mm）、平均付着重量はホタテガイ1枚あたり6.2g（過去10ヶ年平均16.3g）でした（表1、図2）。平均サイズは平年よりも大きいですが、付着個体数が少なく、付着重量は低い数値となっています。サイズ組成では5mm未満の個体の割合が約2割と低く、新たに付着している個体が例年よりも少ないとみられます。8～9月にかけて付着個体数が例年通り大きく減少するようであれば、その後の付着重量の増加（図3下）は緩やかになると考えられます。来月の付着個体数を注目下さい。なお、次回、情報配信は9月末を予定しています。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：令和3年8月26日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	43.9g	33.4g	26.0g	34.4g
ヨーロッパザラボヤ	8.5g	7.8g	2.2g	6.2g
その他	35.4g	25.6g	24.0g	28.3g
ヨーロッパザラボヤ個体数	22.6個体	33.6個体	19.6個体	25.3個体
令和2年8月(R2.8.17)の個体数	103.6個体	138.8個体	35.8個体	92.7個体
令和元年8月(R1.8.26)の個体数	103.8個体	132.6個体	96.4個体	110.9個体
平成30年8月(H30.8.19)の個体数	89.4個体	148.8個体	103.8個体	114.0個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和3年6～8月）



参考 昨年のヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和2年6～8月）

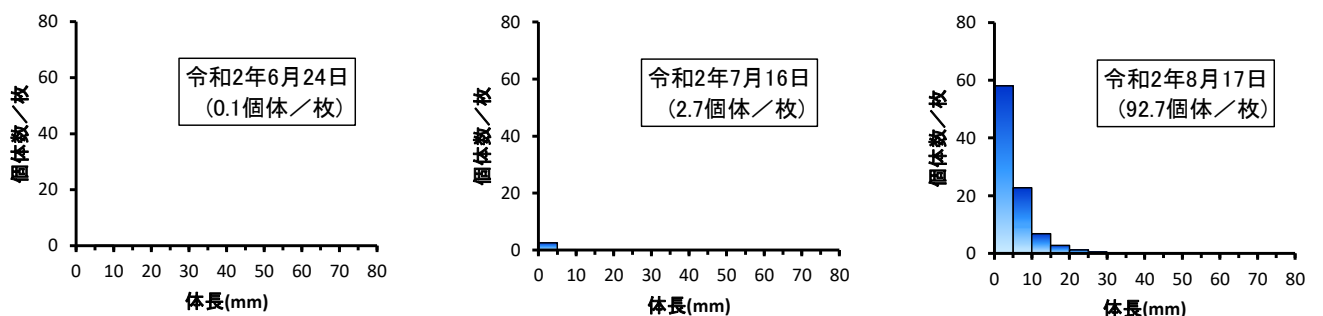
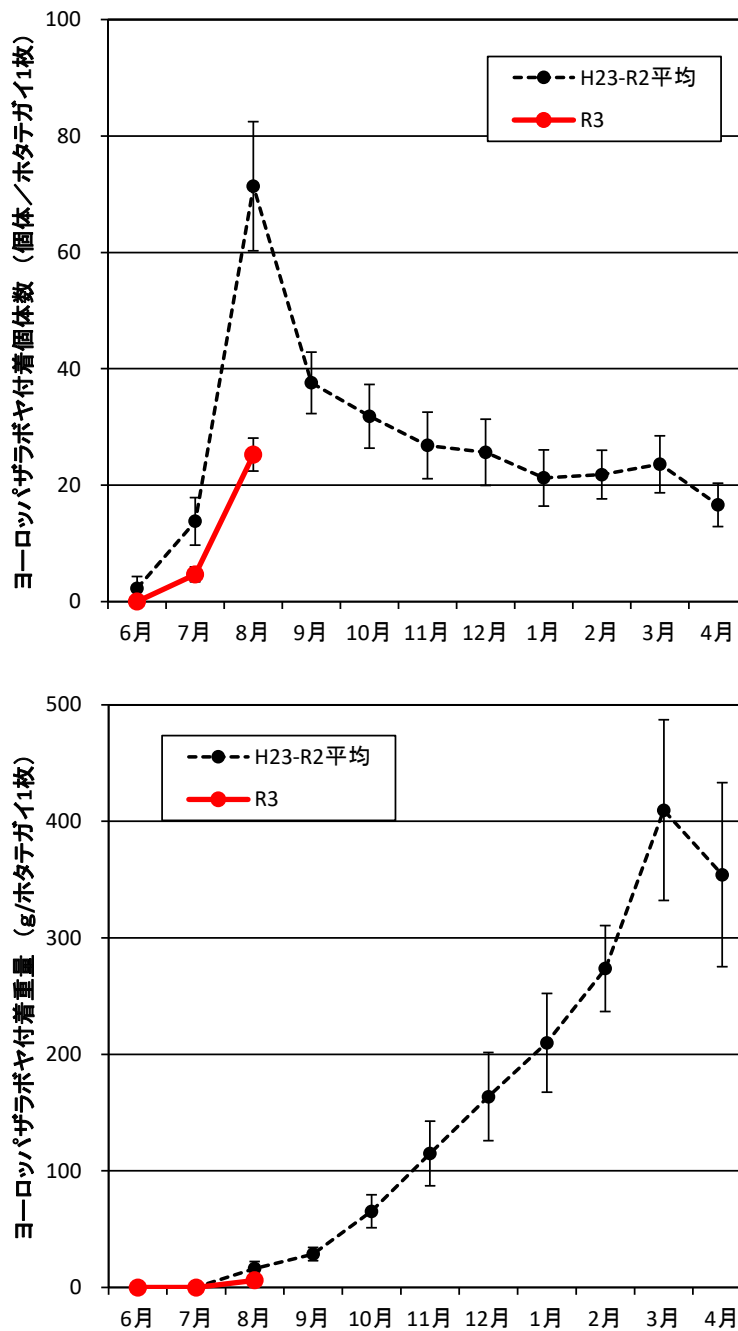


図3 ヨーロッパザラボヤの付着量（八雲地区）



上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。過去10ヶ年（H23～R2年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着個体数は7～8月に大きく増加し、8～9月に大きく減少した後、10月以降は緩やかに減少します。付着重量は10月以降、急激に増加します。